

★ ラインナップ ★

◇ 夏の星空 ~流れ星をみよう!~

◇ あっ晴れ!おかやま国文祭 NEWS

『あさくち星空・宇宙フェスタ』特集として
内容をくわしく紹介しています。

晴れの国おかやま 文化回廊

あっ晴れ!おかやま国文祭

国民文化祭・おかやま2010 平成22年10月30日(土)~11月7日(日)

夏の星空 ~ 流れ星をみよう! ~

夏といえば七夕の星たち。この夏は七夕の星やその間を流れる天の川に加えて、夕方には金星や土星、宵には木星も姿を見せなかなか華やかな星空ですが、夏休みの一番の見どころといえばペルセウス座流星群です。毎年、8月12~13日にかけて見られる有名な流星群で、三大流星群のひとつとしても知られています。

流れ星は宇宙に漂っているチリが地球に飛びこんできたときに、摩擦によって明るく光って見える現象です。とくに太陽系の果てからやってくる大きな雪だるま・彗星の通り道には、雪だるまの一部だったチリがたくさん残っています。そのチリの中へ地球が突っ込むと、そのチリが地球に降ってきます。それがたくさん流れ星となって見えるのです。この流れ星たちは夜空のある一点(放射点)から降ってくるように見えることから、その点がある星座の名前をとって「〇△座流星群」と呼んでいます。例えばペルセウス座流星群は、ちょうどペルセウス座から降ってくるように見える流星群です。また2001年11月に雨のような流れ星を降らせた「しし座流星群」は、ちょうどしし座の頭のあたりに放射点があります。

さて今年のペルセウス座流星群のピークは13日の午前中です。この頃は月も細く、早い時間に西空へ沈んでしまうので、月明かりがなく、暗い流れ星が見られる絶好のチャンス。1時間あたりに20~50個もの流れ星が見られるかもしれません。

見ごろは12日の宵の頃から。空高く昇った夏の夏の大三角から天の川に沿って北東の空へ目を向けると、ペルセウス座が昇ってきています。流れ星は放射点を中心に四方八方に飛んでいくので、東の空から天頂付近にかけて広く見渡せる場所がオススメです。望遠鏡や双眼鏡などの道具はなにもしないで、のんびり寝っころがって夜空を眺めてみてはいかがですか?

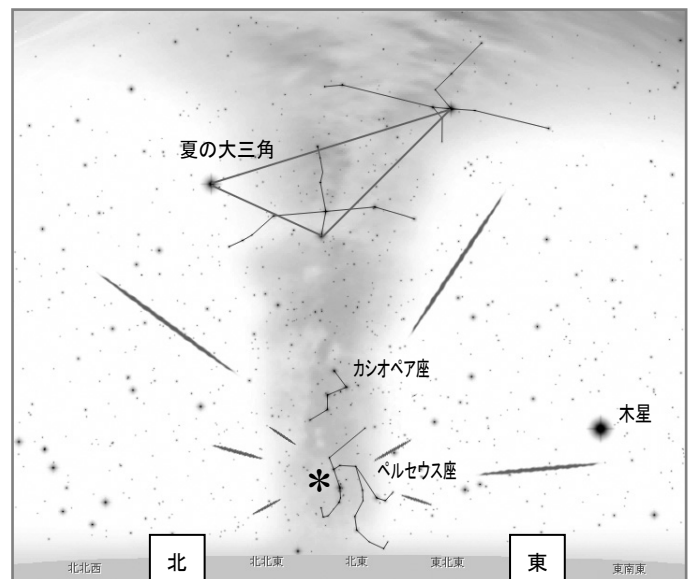


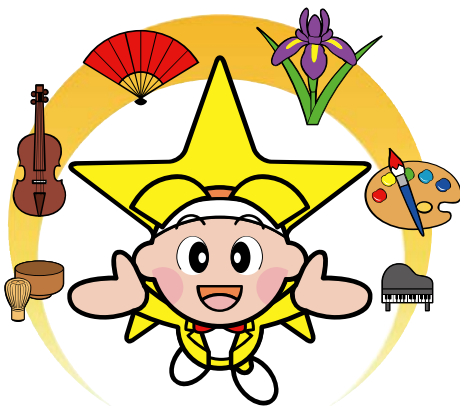
図. 8月12日午後11時頃の星空

* 印(放射点)のあたりから四方八方に飛ぶように見えるかも?



今年、岡山県で開催される「第25回国民文化祭・おかやま 2010」。
浅口市では、天文台のある市の特徴をいかした『あさくち星空・宇宙フェスタ』を開催します。夏休みを前に、いよいよその内容が決まってきたので、今回は国民文化祭・おかやま 2010『あさくち星空・宇宙フェスタ』大特集としてご紹介していきます。

国民文化祭ってなあに？



マスコットキャラクターのももち
国民文化祭バージョンとして登場

その前に、まず、国民文化祭って知っていますか？

国民文化祭とは、アマチュアを中心とした文化活動を全国規模で発表する場を提供する国内最大の文化の祭典、つまり、「日本で一番大きな文化のお祭り」なのです。

文化っていっても、そんなに難しいものじゃなくて・・・合唱や吹奏楽、ジャズといった音楽だったり、絵画や写真、陶芸、マンガなどの美術だったり、現代劇やミュージカル、伝統芸能といったものから、食べものについての文化やファッション、科学など、いろいろです。

国民文化祭・おかやま 2010では、こういった文化のなかから、岡山県の伝統や地域の特徴をいかして、岡山県らしさをアピールするイベントが、平成22年10月30日（土）～11月07日（日）の9日間、岡山県内各地で繰り広げられます。

あさくち星空・宇宙フェスタ

天文台のまちで身近な星空と宇宙を ～未来への夢を発進！～

浅口市の特徴の一つは？ というと、竹林寺の山の上にそびえる天文台の大きな丸いドーム！ 1960（昭和35）年、星を観測するのに国内で最もすぐれた場所として、日本ではじめて大型の望遠鏡がつけられ、望遠鏡を使って星のことをくわしく調べる本格的な研究ができるようになりました。

そして、今年で50周年。

国民文化祭・おかやま 2010では、ここ浅口市から星空・宇宙の魅力伝える「あさくち星空・宇宙フェスタ」というイベントを行います。



あさくち星空・宇宙フェスタの内容は大きく3つ！



天文台

天文台のあるまち★あさくちフォトコンテスト ～星にまつわる素敵な写真を募集します～

建設中の天文台や玉島港から望遠鏡の部品が運びこまれる様子などの昔の天文台の写真、四季折々の天文台・博物館、そして思いがけず出会った美しい星空などなど。技術うんぬんよりもきれいだと思ってシャッターを押した、そんな写真をお待ちしています。



これらの寄せられた写真は、岡山天体博物館に展示し、来館者からの投票による審査も行います。

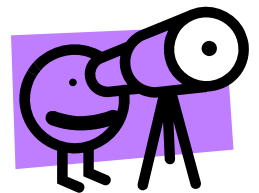
ぜひ、思い出の一枚を応募して、他にどんな写真が集まったのか見に来て、お気に入り一枚を見つけて、まちの自慢である天文台や博物館の魅力を見つけてください。

募集要項など、詳しくはホームページ (<http://www.city.asakuchi.okayama.jp/kokubun/>) や募集チラシなどで確認してください。



岡山天体物理観測所 特別夜間観望会

【11月06日(土)】



いつもは研究を目的とした観測をしているので、なかなかのぞいて見ることができない188センチメートル反射望遠鏡を使って木星などを見る特別観望会です。

国内最大級の望遠鏡で木星はどんなふうに見えるのでしょうか？ また、岡山天体博物館のプラネタリウム室で今夜の星空や木星についての説明、太陽観測室の15センチメートル屈折望遠鏡でもいろんな星を見ることができます。

なお、この特別観望会は事前の申し込みが必要です。どうやって申し込めばいいのか？ など、くわしいことはもうすぐ発表されるので、もうちょっと待ってくださいね。



あさくち星空・宇宙フェスタ メインイベント

【11月07日(日)】

～浅口市健康福祉センターが
一日限りの「科学館」に大変身！～

「あさくち星空・宇宙フェスタ」のメインイベントが、11月7日(日)に浅口市健康福祉センターを会場に行われます。この日、浅口市健康福祉センターが、最新の科学・宇宙の魅力がギュッとつまんだ一日限りの「科学館」に大変身します。

その「科学館」のなかで行われるイベントについて詳しくみていきましょう！

「特別講演会」

計画が進む新天文台や宇宙開発をテーマに、最新の話題をお届けします。

★新天文台計画ってなんだろう？
京都大学、名古屋大学、国立天文台、および民間のナノオプトニクス研究所とが連携して、日本で一番大きな3.8メートル新技術望遠鏡を岡山天体物理観測所のなかに作る計画。2005年から本格的にスタートしました。

この望遠鏡は、18枚に分けられた鏡を組みあわせて、直径3.8メートルの一枚の鏡として働かせます。将来、もっとも大きな望遠鏡を作るための足がかりとなります。

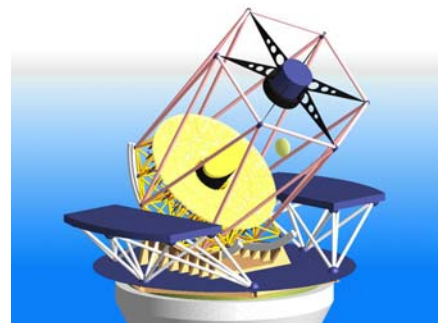


図. 望遠鏡のイメージ図。京都大学の望遠鏡計画HP <http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/~iwamuro/Kyoto3m/> より

テーマ1「^{しんてんもんだい}新天文台」では、^{ぼうえんきょう}3.8メートル望遠鏡でどんな宇宙が見えるのか？^{うちゅう}どんなことがわかるのか？^{はなし}といったお話から、^{いま}今、^{ぼうえんきょう}望遠鏡はどこまでできているのか？^きといった、^{はなし}ちょっと気になるお話も^き聞くことができるはず。



金星探査機「あかつき」の打ち上げの様子

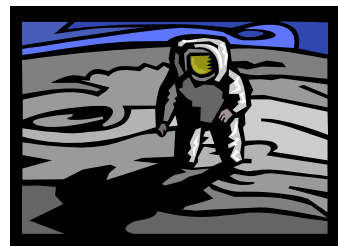
提供：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

そして、テーマ2は、^{にほんじんうちゅうひこうし}日本人宇宙飛行士の活躍や日本の金星探査機「あかつき」の打ち上げ、^{しょうわくせいたんさき}小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰ってきたりと最近話題になっている「^{うちゅうかいぱつ}宇宙開発」についてです。

「まいど1号」って、^き聞いたことありませんか？^しくわしく知らなくても、^{なまえ}CMもやってたし、^き名前ぐらいは聞いたことある人、^{ひがしおおさか}いっばいいるんじゃないでしょうか？^{ちゅうしゅうきぎょう}東大阪の中小企業の^{ぎじゆつりよく}技術力を^{けっししゅう}結集して^{じんこうえいせい}人工衛星を^う打ち上げて^{おも}やろうという思いから、^{ねん}2009年1月、^{ほんとう}本当に「まいど1号」の^う打ち上げに^{せいこう}成功しました。^うプロジェクトをはじめた^うきっかけから^う打ち上げ成功まで、「まいど1号」に^{おも}こめられた思いについて、^{にほん}そして日本の^{さいしん}最新の^{うちゅうかいぱつ}宇宙開発について、^{かんけいしや}関係者の方から^{かた}直接^{ちよくせつ}お話を^{はなし}聞くことができます。

「^{うちゅうふく}宇宙服の^{たいけん}体験&^{とくべつてんじ}特別展示」コーナー

ホンモノの^{うちゅうふく}宇宙服を^{たいけん}体験して^{うちゅうひこうし}宇宙飛行士になったつもりで^{きねんしやしん}記念写真を^と撮ったり、^{うちゅうひこうし}宇宙飛行士は^{うちゅう}宇宙で^たどんなものを^う食べているのか？^{うちゅうしよく}宇宙食を^{ししよく}試食したりすることもでき、^うこれで^う宇宙飛行士への^{ゆめ}夢も^{ふく}膨らむばかり。また、^{さくねん}昨年^せの世界天文年で^{かくち}各地を^{じゆんかい}巡回した^{とくべつてん}特別展「^{てんたいかんそく}ガリレオの天体観測から^{ねん}400年^う—宇宙の謎を^と解き明かす—」も^あやってくるので、^{ねん}これまでの^う400年の^{うちゅう}宇宙の^{れきし}歴史を^たたどることができます。



「^{ちようせん}3.8メートルに^{ちようせん}挑戦！」コーナー

^{けいかく}計画が^{すす}進む「^{おかやま}岡山^{しんぎじゆつぼうえんきょう}3.8メートル新技術望遠鏡」の^{かがみ}鏡と^{おな}同じ^{おお}大きさで、^{おな}同じように^{まい}18枚に^{ぶんかつ}分割された^{つか}パズルを使って、^{かがみ}3.8メートルの^{おお}鏡の^{かがみ}大きさや^{なら}どんなふう^{ちようせん}に鏡が^{ちようせん}並べられるのか^{ちようせん}挑戦してみよう！

「^{じげん}ミニプラネタリウム&^{うちゅう}4次元デジタル宇宙（4D2U）シアター上映」コーナー

^{ほし}星に^{とど}手が届きそうな^{ほしぞら}プラネタリウムで^{たの}星空を^と楽しんだり、^だ飛び出す^{えいぞう}映像のなかを^{うちゅうりょこう}宇宙旅行するような^{かんかく}感覚で^{さいしん}最新の^う宇宙を^{かん}感じたり、^{ほしぞら}星空や^う宇宙の^{みりよく}魅力を^{たいけん}体験できます。

< 編集後記 >

- ☆ すっかり真夏の八重山を満喫してきました。満天の星空の下で聴く鳥唄と珊瑚の海で元気いっぱい。この夏も頑張れそう(^) Yumi
- ★ 今回は休みをいただきました。次回まで、色々と充電しておきます。 Kabu
- ★ ワールドカップで世界最高峰のプレーを楽しみました。いずれは岡山から日本代表を！ tomo

この博物館通信は、岡山天文博物館が作成しています。次回 秋号は10月ごろ 発行予定です。

博物館通信のカラー版やバックナンバーは、岡山天文博物館のホームページからダウンロードできます。

岡山天文博物館 浅口市鴨方町本庄 3037-5 TEL・FAX：0865(44)2465 休館日：月曜・祝日の翌日
博物館ホームページURL <http://www.city.asakuchi.okayama.jp/museum/index.html>